

## からくり部

### WRO2011 全国大会出場

からくり部は今年から初の取り組みとして、WROという自律型ロボットのコンテストに出場しました。5月頃に3チーム編成し、7月31日の関西大会に向けて取り組みを開始しました。そして、見事Cチームが準優勝し、全国大会出場が決定しました！それから、全国大会に向けての新たなマシン作成を開始しました。マシンは関西大会から改良し、全国大会ではアイデア的にも優れていたマシンになったのではないのでしょうか。

しかし、大会では残念ながら負けてしまい、「世界大会出場」とまではいきませんでした…がこの大会を通じてたくさんの事を学ぶことができました。来年はこの経験を生かし、ぜひとも世界大会に行きたいです。そして、この大会に出場し、全国大会に出場できたのもたくさんのご支援をしてくださった先生方のお陰であり、感謝の意を表したいと思います。ありがとうございました。

電気工学科1年 小田 博章  
電子制御工学科1年 菅田 唯仁  
情報工学科1年 三上 徹朗



## 機械研究会

### 全国高校生鉄道模型コンテストに出場して

機械工学科3年 近藤 直樹  
機械工学科3年 三谷 涼太郎  
電気工学科2年 山本 遥平



機械研究会は8月19日～20日に東京ビックサイトで行われた第3回全国高校生鉄道模型コンテストに出場しました。今回は最多の46校が出場していました。町の景色などを模型で表現したジオラマ作品で競うもので、各学校根気の入った作品がたくさんあって驚きの連続でしたが、僕たちは最優秀賞には一步とどきませんでした。準優勝にあたる優秀賞を受賞することができました。さらに出場校した学生の投票による「学生が選ぶベストワゴン」も受賞しました。このダブル受賞は今までにない快挙でとてもうれしく思っています。僕たちの作品は「大阪によくある風景」というタイトルで、最大の特徴はジオラマの隅にたたく大阪城と大阪市営地下鉄の駅をイメージして作った地下部分で、満足のいく作品ができました。雑誌の取材も初めて経験し、とても緊張しましたが楽しかったです。この作品の完成にあたってはたくさんの方の協力がありとても感謝しています。



## ジュニア県展 2年連続入賞!

## Arts and Science

美術 非常勤講師 平田 裕信

Arts and Science (学芸) この言葉は高専生にはぴったりの様に思える。ルネサンスの時代、科学と芸術は現在のような距離の分野では無かった。科学者であり建築家そして画家であり彫刻家、はたまた音楽の作曲もする。そんな人たちが多くいた時代に新しい技術は新しい芸術を生み出しました。ダ・ヴィンチ、ミケランジェロ、デューラー、ファン・エイクなどは良く知られた天才たちであります。現存しているこの人たちの作品は一人で作り上げたものではなく多くの弟子たちと話し合い、設計、制作、製造していました。今で言えば大手の製造会社の社長といったところでもあります。注文主は王侯貴族や教会で国家プロジェクトからプライベートな絵画、装飾品に至るまでデザイン、制作に応じていました。そして、現在も新しい素材の開発やテクノロジーが芸術の分野を大きく変えつつあります。

2S揉井君は「昨年は入選でしたが今年は佳作となり、満足しています。私自身も昨年よりもいい出来だと思っていたので、とても嬉しいことです。

今回は、殻に包まれていた心が目覚めて生まれ変わる、といった構想です。殻は肋骨を、心は心臓をイメージしました。』2年連続の入選もコンピュータと大型 プリンター無しでは表現できないイメージです。筆や絵具ではない道具としてビジュアル表現の可能性が今後も益々求められようとしています。

皆さんも、日々の生活や科学の内にあるアートを発見して、是非広く多くの人に示してほしいと思います。



作品名「メザメ」

## Young Scientist Award受賞

機械制御工学専攻2年 松井 昌澄

私は2011年に沖縄で開催された「Fifth Yellow Sea Rim Workshop on Explosion, Combustion and other Energetic Phenomena」に参加し、「Young Scientist Award」を受賞することができました。学会に参加することは研究活動に対するモチベーションや、研究の質を高めることができるなど、非常に重要です。私は賞を受賞することができたので、研究活動に対するモチベーションがより高まりました。また学会では自分の研究を発表するほかに、様々な大学から参加している研究者たちの講演を英語で聞くことができました。他人の講演を英語で聞くことは国際学会に参加する醍醐味の一つだと思います。すべての講演が英語なので、すべてを理解することはできませんでしたが、非常に勉強となり国際学会の雰囲気を感じることができました。この貴重な経験を今後の研究活動に生かしていきたいと思っています。



## 「高専連携教育研究プロジェクト学生成果報告会」で優秀賞受賞 ～大学との共同研究が、研究に対する情熱を高めた成果～

電子情報工学専攻2年 福井 斉

私は、この度、豊橋技術科学大学の高専連携教育研究プロジェクト学生成果報告会で、電気・電子情報工学分野の優秀賞を受賞しました。23件中1件という狭き門でしたが、昨年の電気関係学会関西連合大会奨励賞に続く受賞で、とてもうれしく感じました。私が所属する藤田研究室では、一昨年より豊橋技科大の松田研究室、伊崎研究室と研究合宿などを行っています。この交流を通じ、豊橋技科大の方々から、研究に対するご助言をいただくとともに、高専卒の先輩方が研究に打ち込む姿を見て、刺激を受けました。その結果が、今回の受賞につながったと思います。それ以外にも、学会発表などで知り合った他大学の方々や様々な議論をしたことも、自分の成長に大きく役立ったと思っています。今後もこれらの経験を活かして、研究に励んでいきたいと思っています。

